

梅雨や台風季節が到来します

台風や集中豪雨から身を守るために

近年、全国各地で局地的豪雨や台風による大規模な風水害、土砂災害が発生しています。ここ数年、降雨状況が局地的・短時間で豪雨化しているほか、接近する台風も巨大化傾向にあり、災害が発生する危険度が高くなっています。昨年9月には、市内において竜巻などの突風災害が発生し、その約1週間後には台風第15号の接近による大雨の影響で、市内だけでなく県内各地で浸水や土砂災害などのさまざまな被害が発生しました。

風水害や土砂災害から身を守るためには、最新の気象情報などに注意し、市から避難の呼びかけがあったときには、正しく迅速に行動することが重要です。「自らの命は自らが守る」意識を持ち、平時からお住まいの地域の災害リスクと取るべき行動を確認し、緊急時に適切な避難行動を取ることができるようにしましょう。

問い合わせ 危機管理課 小杉山佳 ☎(23) 0056



令和4年9月の台風で浸水した道路（中里区）

日頃からハザードマップで危険箇所の確認を

台風や豪雨時に慌てずに行動するためには、日頃から周囲の災害リスクを把握し、自分がいつ、どのような避難行動を取るべきか知っておくことが重要です。災害から命を守るために、「洪水ハザードマップ」（全戸配布済み）と一緒に「避難行動判定フロー」を確認しておきましょう。また、避難先も家族で確認しておきましょう。

迫り来る危機を知る

風水害や土砂災害から身を守るためには「情報収集」が大切です。天候の推移や河川の状態など、最新の情報を把握することで、避難の準備や心構えができ、市から避難の呼びかけがあったときに、すぐに行動できます。

家庭や地域では、地上デジタルテレビのデータ放送やインターネットから最新の情報が分かります。

土砂災害にも注意を

土砂災害は大雨、台風、長雨により発生し、「土石流」「地すべり」「崖崩れ」の3つに分類されます。

土砂災害には、次のような前兆現象が起きます。これらを確認した場合はすぐに斜面などから離れ、身の安全を図る行動を取ってください。

「土石流」

▼急に川の水が濁り流木が混ざる▼山鳴りがする▼雨が降り続けているのに川の水位が下がる

「地すべり」

▼沢の水や井戸水が濁る▼斜面から水が噴き出す▼地面にひび割れができる

「崖崩れ」

▼崖から水が湧き出している▼崖から小石がパラパラ落ちる▼崖に亀裂ができる

土砂災害の危険度が高まったときには、「土砂災害警戒情報」が県および静岡地方気象台から共同発表されます。

市からの呼びかけで迅速な避難を

台風や豪雨のとき、市では最新情報を分析し、気象台などと連携しながら市内の状況を常に監視しています。

氾濫や土砂災害の危険が高まった場合には、市から「警戒レベル」に応じた避難情報が発令されます。状況に応じて、必ず安全を保てる場所を避難所として指定しますので、避難情報が出たら早めの避難を心がけてください。

避難の呼びかけ手段

市からの避難の呼びかけ（避難指示などの発令）は、同報無線や市ホームページ、メール・LINEなどのほか、テレビ放送（データ放送含む）や「緊急速報メール」で実施します。

緊急速報メールは、災害発

避難用品や非常用品の用意も忘れずに

避難が必要になったときに備え、安全で避難しやすい服装を用意し、食料や飲料水、懐中電灯、携帯ラジオなどの非常用品やマスクなどの感染症対策物品、非常時に持ち出す貴重品をまとめておきましょう。また、携帯ラジオの予備電池や携帯電話の充電にも注意し、毛布なども用意しましょう。

実際に避難の呼びかけがあった場合は…

▼
昼夜の滞在も考え、自分自身
が使用する**毛布などの寝具**や
2食分程度の食料を準備して
から避難しましょう。

知っていますか？ 避難情報

無理な避難をしない「垂直避難」も有効



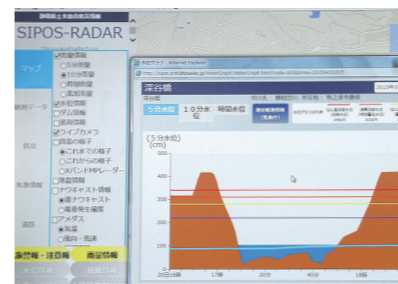
夜間や雨脚が強い状況下での子どもや高齢者、足腰が不自由な人などの避難は大変危険です。無理に避難所へ移動せず、住宅の2階など、高いところへの避難（垂直避難）も有効です。ただし、河川の近くや土砂災害の危険区域にお住まいの方は、避難所への避難を優先してください。

避難情報の種類と住民に求める行動

警戒レベル	住民に求める行動	避難情報など
5	すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保
4	速やかに避難所に避難。避難所への移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内の安全な場所に避難。	避難指示
3	高齢者など、避難に時間を要する人とその支援者は避難開始。その他の人は、いつでも避難ができるよう準備。	高齢者等避難
2	避難に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認。	
1	災害への心構えを高める。	

情報収集が身を守る

インターネットによる情報収集



気象庁 (<http://www.jma.go.jp>)
雨雲の動き、台風情報のほか、洪水や土砂災害の危険度分布、竜巻発生確度などに関する防災情報が提供されています。
サイポスレーダー（静岡県土木総合防災情報） (<http://sipos.pref.shizuoka.jp>)
萩間川や勝間田川、坂口谷川の水位情報などが確認できます。

地上デジタルテレビのデータ放送（dボタン）



防災情報（天気予報や降雨状況、河川水位など）を確認できます（「d」ボタンは、テレビの機種によって配置が異なります）。
*令和4年10月から、静岡朝日テレビの「自治体広報情報サービス」を活用し、市からのお知らせをデータ放送で発信しています。
*河川水位はSBS（静岡放送）、NHK（日本放送協会）のみ。

「牧之原市洪水ハザードマップ」で浸水想定区域の確認ができます。また「土砂災害危険箇所(区域)」も確認できます。

牧之原市 洪水ハザードマップ
で 検索

「避難行動判定フロー」は、あなたが取るべき避難行動の確認ができます。

牧之原市 避難行動判定フロー
で 検索

平常時から区や町内会の避難地を確認しておきましょう。

牧之原市 お住まいの避難地
で 検索